



←静岡県東伊豆町委員本の風力発電施設が発する低周波音の音圧レベルと、その時間変化(10秒毎)



風力発電機は従来の重厚長大型と何ら変わりはなく、施設が巨大化すると必ず利権が発生するものです(保坂展人)。エコキュートや、サッシなどによる防音対策によって、低周波音被害を発症するケースにもなることを、建築関係者は目を向けてください(汐見文隆)。

特集 | 「エコ」と低周波音被害

低周波音症候群被害者の会 = 「政府奨励のエコ機器で、被害者・加害者を生み出す」
被害の現場から = 風力発電・エコキュート・スーパーマーケットの冷却設備・建設現場
環境省 = 「低周波音被害は増えている」
電力会社・エコキュートメーカー = 「低周波音」アンケート
「巨大風力発電機の夜間運転停止、建設距離規制急げ」 = 保坂展人
「高気密・高断熱などの防音対策が低周波音被害を助長」 = 汐見文隆

五十嵐太郎の先読み編集局
幻の卒業設計

日本一
菊地尊也

論評

住民の高齢化と団地老朽化
建築家の力求む || 山岡淳一郎
オピニオンの視線
地球温暖化の情報公開は国、
産業界の責任 || 早川光俊



美しき
構造設計の
世界⑤
佐々木睦朗

好評連載
建築基本法をつくらう || 神田順

規制の多くは、国で一律に定めるといふよりは、自治体が条例で決めることが望ましいと考える。法律レベルの規制をなるべく条例に移していくことにより、比較も見えてきて、運用についてもよりよいものを手本にしていける。

